



- 「家庭は教育の原点である」と言われているように、家庭教育は「人づくりのみなもと」として、重要な役割を担っています。「しつけの場」であり、「心の居場所」である家庭で、子どもは、生活に必要な基礎的な力や人を信頼する心を身につけていきます。

子どもたちの健全な育成のために、各家庭で以下の習慣を子どもに身につけるよう、家族みんなで実践されるよう、お願いします。

家庭教育で大切にしたい七つの習慣

1 決めた時刻に寝る習慣をつけよう！

- ・ 決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きるということは、規則正しい生活のリズムの基本であり、子どもの発育にとって、欠かせないものです。

2 身の回りの片付けをする習慣をつけよう！

- ・ 身の回りの片付けをすることは、物を整理したり管理したりする力だけでなく、物を大切にできる心も育てます。

3 手伝いをする習慣をつけよう！

- ・ さまざまな手伝いを通じて、家族との会話も増え、生活体験が豊かになり、生活力や自分で判断して行動する力が身につけます。

4 あいさつをする習慣をつけよう！

- ・ あいさつすることは、身近な人とのコミュニケーションを促し、人間関係を築く出発点となります。

5 家族で会話をする機会をふやそう！

- ・ 家族との会話を増やすことで、家族のきずなが深まります。自分の話を聴いてもらうことで、安心して何でも話せ、相談する関係が出来ます。

6 外で遊ばせるようにしよう！

- ・ 外での遊びは、健康を増進し、体力を向上させ、体験を豊かにします。ただし、危険をとまなうこともあるので、危険から身を守る方法を子どもに教えることも必要です。

7 してよいこと、してはいけないことをしっかりと教えよう！

- ・ してよいこと、してはいけないことをしっかりと教えることは、子どもが自分で善悪を判断できるようになるために必要なことです。